

令和 8年度予算見積調書

課室名: 会計課
担当名: 予算係
内線: 2234

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
p2	空撮用ドローンの導入による交通事故事件捜査の合理化			一般会計	警察費	警察活動費	警察活動費	交通指導取締関係諸費		
事業期間	令和 8年度～	根拠法令	警察法				針路	02 県民の暮らしの安心確保	SDGsゴール	3
							分野施策	0202 交通安全対策の推進	SDGsターゲット	3-6
1 事業概要 交通事故事件捜査における現場計測及び作図作業をデジタル化し、捜査の合理化・緻密化を図ることを目的として空撮用ドローンを導入する。 空撮用ドローンの導入 12,879千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ドローン図化システム購入費、各種ソフト使用料、講習費用等 (2) 事業計画 令和8年度導入、運用開始 (3) 事業効果 交通事故事件現場における交通規制を伴う計測時間が縮減され、交通渋滞の縮減や渋滞長の減少により、円滑な交通環境が創出される。 緻密で正確な実況見分等により、多くの客観的な証拠に基づいた事故事件捜査を実現し、悪質で危険性の高い運転者を適切に処分して道路交通の場から排除する。 【活動指標(アウトプット)】空撮用ドローンによる交通事故事件現場等の撮影 【成果指標(アウトカム)】交通規制を伴う計測時間1件あたり40分縮減 作図時間1件あたり165分縮減						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 デジタル活用推進事業債 充当率90% 交付税措置50%										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比	
		県 債								
決定額	12,879	9,000						3,879	12,879	
前年額	0							0		

事業内訳書

事業名	空撮用ドローンの導入による交通事故事件捜査の合理化		
単位事業名	空撮用ドローンの導入	予算額	12,879千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・警察債	9,000	9,000	交通事故事件捜査機器整備事業債
一般財源	3,879	3,879	
合計	12,879	12,879	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	21	21	ライセンス取得講習旅費
役務費	1,585	1,585	ライセンス取得講習費用、ドローン保険料
委託料	275	275	点群図化ソフト保守委託料
使用料及び賃借料	3,226	3,226	点群図化ソフト・作図ソフト使用料
備品購入費	7,772	7,772	ドローン図化システム購入費

単位事業名	空撮用ドローンの導入	予算額	12,879千円
-------	------------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	12,879	12,879	